

# 仲間と“志気”を高めて！ がんばる志木っ子！



## ～次代を担う子どもたちのために～ 小中一貫教育を推進します

市内には、文化・スポーツなどさまざまな分野でがんばる志木っ子がたくさんいます。活気あふれる志木っ子たちの勇姿を自身の励みにつなげてみませんか。

また、4・5ページでは、次代を担う子どもたちの健やかでたくましい成長につなげるために現在推進している小中一貫教育についてお知らせします。

問合せ／学校教育課 ☎048(456)5367

### 志木第二中学校 美術部



志木第二中学校美術部は、現在23人が在籍し、「全日本学生美術展」や「全国中学生アートの甲子園」など数々の全国大会で優秀な成績を取っています。

あいさつや返事の徹底はもちろんのこと、複数の部員が「楽しそうな空気感に惹かれて入部を決めた」と口にするほど学年の垣根を超えた団結力があることも魅力のひとつです。

日頃の活動では、大会や作品展に向けた作品制作のほか対象物を素早く観察し捉える訓練として、部員1人がモデルとなり、そのほかの部員が5分間のうちにモデルを描画する練習も行います。

また、「すべてのことに感謝の気持ちを忘れない」という活動方針のもと、活動後には、自分たちが使用している美術室前の廊下や手洗い場の清掃を行うなど、活動を通して人間力の向上も図っています。



部長 小泉 優依さん(3年)

家族のような仲間といっしょに作品の構図を考えているときが一番楽しい！



副部長 富増 柚衣さん(3年)

今の目標は、9月30日(土)開催予定のあさか美術部合同作品展から全国大会へ選出されること！

# 志木市躰道協会



▲志木市躰道協会  
ホームページ



志木市<sup>たい</sup>躰道協会は、現在子どもから大人まで約50人が在籍し、中学生までは礼儀作法や実技の習得、高校生以上は全日本選手権入賞を目標としつつ、健康増進を目的とした呼吸法を習います。

所属する複数の生徒が全国大会で上位の成績を収めるとともに、優秀選手賞に選出されるなど、各大会で大きな存在感を放っています。



強さの秘訣を志木市躰道協会会長で六段教士<sup>やまだ しげゆき</sup>の山田重幸さんに尋ねると、「生徒は自分の意思でさまざまな大会に出場する。そこで対戦した相手がライバルとなり、負けたくないという思いから自ら強くなろうとする姿勢が自然と稽古にも表れ、良い結果につながっているのではないかと話します。

躰道を習いたいなど興味のある人はぜひ、志木市躰道協会ホームページをご覧ください。



第43回全国少年少女躰道優勝大会  
女子個人法形・実戦競技  
中学生の部 優勝  
塚越 香凜さん(志木第二中学校3年)

新たな挑戦や交流のきっかけになれおと思ひ、躰道をはじめました。試合に勝ったときや褒められたときの喜びだけでなく、躰道では基本技や法形などを通して集中を維持できる精神力が身に付いたため、生活面でも経験を活かせるのが魅力です。

今後も法形・実戦競技両方での全国大会優勝と最優秀選手賞を目指して頑張ります!



第46回埼玉県躰道優勝大会  
少年少女実戦競技  
小学校高学年の部 準優勝  
山田 光真さん(宗岡小学校4年)

躰道をはじめたきっかけは、もともとやっていたお兄ちゃんやお姉ちゃんの姿を見てカッコいいと思ったからです。

暑い中での練習は大変だけど、ライバルに勝ったときや審査に合格できたときにもっと頑張ろうという気持ちになります。

目標とする選手はお兄ちゃん。お兄ちゃんのように全国大会で優勝したいです!



市内で活躍している小・中学生の  
皆さんを紹介します

## がんばる志木っ子!

「がんばる志木っ子!」コーナーでは、活躍する志木っ子(主に児童・生徒)の皆さんを紹介しています。高みを目指して頑張る志木っ子からのご応募をお待ちしています!詳しくは、市ホームページをご覧ください。



▲市ホームページ



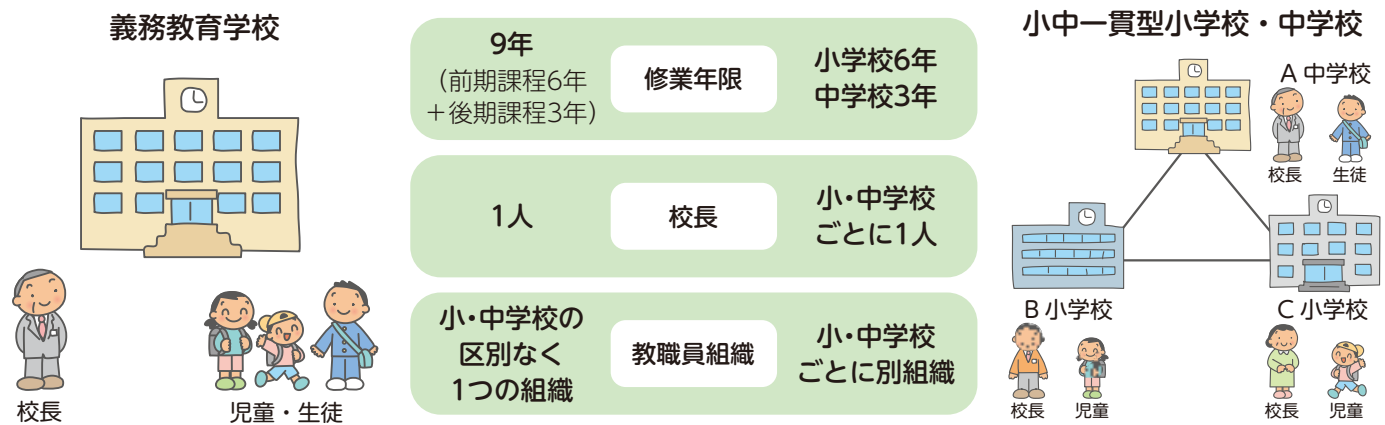
# ～次代を担う子どもたちのために～ 小中一貫教育を推進します

小中一貫教育とは、小・中学校の先生が義務教育9年間の全体像を共有し、9年間を通じたカリキュラムに基づき、切れ目のない連続した学習・生活指導を行う教育です。

市では、令和7年度から市内すべての小・中学校で小中一貫教育を推進していきます。

## 義務教育学校と小中一貫型小学校・中学校

小中一貫教育を推進する学校の設置形態は、「義務教育学校」と「小中一貫型小学校・中学校」の2つがあります。



## 小中一貫教育を推進する中学校区

中学校区	中学校	小学校	設置形態
志木第二中学校区	志木第二中学校	志木第二小学校、志木第四小学校	義務教育学校
志木中学校区	志木中学校	志木小学校、志木第三小学校	
宗岡中学校区	宗岡中学校	宗岡第二小学校、宗岡第四小学校	義務教育学校または 小中一貫型小学校・中学校
宗岡第二中学校区	宗岡第二中学校	宗岡小学校、宗岡第三小学校	

## どうして小中一貫教育が必要なの？

- 課題① 学習のつまずき**  
 教育内容や学習活動の量・質の充実が図られており、20年前と比べると小学校の授業時間数は、年間で約70時間増えています(英語・道徳の教科導入)。
- 課題② 発達の早期化**  
 6-3制(6年制の小学校と3年制の中学校)がはじまった昭和20年代前半と比べると、身体的な発達や思春期の到来する時期が2年ほど早まっています。
- 課題③ いわゆる「中1ギャップ」**  
 中学校へ進学の際に新しい環境の変化に対応できない、いわゆる「中1ギャップ」や小学校と中学校の学習や生活の違いによる「小中ギャップ」により、市内でも中学校へ進学後に不登校になる生徒は多く、小学6年生の不登校者数と進学後の中学1年生の不登校者数を比べると、2.6倍に増加しています(令和3年度)。



小中一貫教育を推進することで、課題を解決し、教育の質をさらに向上します

# 小中一貫教育のメリット

## ①切れ目のない、連続した学習・生活指導

9年間を通じた切れ目のない、連続した学習指導により、小学校から中学校へ進学する際のハードルを低くすることができます。

## ②小・中学校の先生の連携による課題解決力の強化

小・中学校の先生間で情報を共有し、連携して対応することにより、早い段階で学習のつまずきの解消やいじめなどのトラブルの早期発見・対応ができるほか、児童・生徒の個性を把握しながら成長を見守ることができます。また、多くの児童・生徒・保護者との関わりや小・中学校の先生同士の協働により、学校の教育力が向上します。

## ③幅広い年齢層の交流による豊かな人間性・社会性の育成

日常生活での交流や学校行事を合同で開催するなど小・中学校の垣根を超えた交流により、豊かな人間性や社会性が育まれます。小学生は中学生への憧れを持ち、身近な目標となるほか、中学生は小さい子どもへの思いやりが育まれます。

また、義務教育学校では、6歳から15歳までの児童・生徒が同じ学校で学ぶため、より効果的な日常生活の交流が生まれやすくなります。

## ④特別支援教育の充実

9年間を通じた切れ目のない、連続した指導・支援やスムーズな小・中学校の接続など、精神的・肉体的な負担の軽減により、充実した特別支援教育を行うことができます。

## Q & A

### 小中一貫教育

#### Q 小学校で、中学生と同じ授業を行うの？

**A** これまで通り、小・中学校それぞれの「学習指導要領」に沿った授業を行います。  
そのうえで、専門性をもった中学校の先生が小学生の授業を教えることにより、教育の質の向上を図ります。

#### Q 通学区は変わるの？

**A** 小・中学校ともに通学区は変わりません。

#### Q 通学区選択の自由化は今後も継続するの？

**A** 「志木市立中学校の通学区選択の自由化」の制度は継続します。

小中一貫教育について詳しくは、  
市ホームページをご確認ください。



▲市ホームページ

### 義務教育学校

#### Q 大規模校になると先生の数が減るのでは？

**A** クラスの定員は変わらないため、先生もこれまでと同じ基準で配置されます。  
それに加え、スマート教員や英語専科教員、支援員や相談員など市独自の手厚い教育支援を今後も継続します。

#### Q 制服や体操服は、新しく買わなければならないの？

**A** 新たな制服や体操服を検討する際には、児童・生徒・保護者などの皆さんからご意見をいただきながら検討を進めます。  
在校生については、現在の制服、体操服を使用できるようにします。

#### Q 小学校の卒業式、中学校の入学式はなくなるの？

**A** 成長過程において、節目の行事は大切であるため、義務教育学校においても、6年生終了時には卒業式に相当する行事を行い、7年生についても入学式に相当する行事を行います。  
なお、具体的な方法については、学校において決定します。